

「ディスカバー^む農山漁村^らの宝」有識者懇談会 (第3回選定)

参 考 資 料

参考1

「ディスカバー^む農山漁村^らの宝」有識者懇談会委員名簿 …… 1

参考2

「ディスカバー^む農山漁村^らの宝」の選定方法等について …… 2

参考3

「ディスカバー^む農山漁村^らの宝」選定による効果について …… 3

参考4

明日の日本を支える観光ビジョン関係資料 …… 7

参考5

広域観光周遊ルート関係資料 …… 8

(参考1)

「ディスカバー農^む山^ら漁村の宝」有識者懇談会委員

あん・まくどなるど 上智大学大学院教授、慶應義塾大学特任教授

今村 司 (株) NPB エンタープライズ代表取締役

織作 峰子 大阪芸術大学教授、写真家

田中 里沙 (株) 宣伝会議取締役、事業構想大学院大学 学長 教授

東谷 望史 馬路村農業協同組合代表理事組合長

永島 敏行 俳優、(有) 青空市場代表取締役

(座長) 林 良博 国立科学博物館館長

三國 清三 オテル・ドウ・ミクニ オーナーシェフ

向笠 千恵子 フードジャーナリスト、食文化研究家、
郷土料理伝承学校校長

横石 知二 (株) いろどり代表取締役社長

(五十音順：敬称略)

「ディスカバー農山漁村の宝」の選定方法等について

「ディスカバー農山漁村の宝」の注目度を高めるとともに、地方創生などの現下の**重要政策との連携を強める**ことにより、農山漁村活性化の**優良事例の発掘**と全国への**横展開**がより**効果的に実施**されるよう、以下の取組を継続。

他薦の仕組みの導入

「地域おこし協力隊」・「地方創生コンシェルジュ」等を通じた新規公募の掘り起こし

公募全体(公募期間2ヶ月間)

有識者委員による審査

選定地区

(各ブロックから2地区程度。合計20地区程度)

応援メッセージを全国から一般公募

有識者委員による審査

政策テーマ(地方創生、インバウンド、輸出、女性・高齢者・障害者の活躍等)に資する取組を、「特別賞」として選定

最優良事例を「グランプリ」として選定

グランプリ等は、交流会当日に発表

特別賞

(数事例程度)

グランプリ
(1地区)

「ディスカバー農山漁村の宝」(第1回)選定による効果について

第1回選定地区においては、2年目から「よしもと47ご当地市場」への出展など、各地区の活動も継続、発展し、売上げの増加や商品開発、横展開の進展がみられるところ。



1. 知名度の向上・来客数、売上げの伸び

<守山女性部加工組合(長崎県雲仙市)>

◎伝統野菜「雲仙こぶ高菜」の栽培と加工品の開発・販売で地域おこし

(1年目)

○受賞後5回の講演依頼や4回の記事掲載に加え、政府インターネットテレビ「徳光・木佐の知りたい！ニッポン」にも出演(平成26年11月)したが売上げに変化は見られず

(2年目)

○3回の記事掲載(内1回は全国紙)に加え、講演依頼は12回に増加した他、42団体1,000人の視察を受入れ。さらにマレーシアの日本紹介番組にも出演(平成28年3月)

○また知名度向上、新商品開発等により、年間売上げ1,560万円(対前年186%)、年間来訪者数800人(対前年200%)、朝市平均来場者数150人(対前年214%)に急増した他、取引先も6件増加



守山女性部加工組合
(下段:こぶ高菜恵方巻き)

<有限会社今帰仁アグー(沖縄県今帰仁村)>

◎在来家畜資源「琉球豚」を活用した加工食品の販売による地域おこし

(1年目)

○受賞を契機に新たな取引先を獲得(資生堂パーラー新宿店、銀座ロドランド)した他、農場を2ヶ所から3ヶ所に拡大(対前年150%)

○年間売上げは平成25年の1,700万円から平成26年に3,080万円(対前年181%)に、取引先も26件に増加

(2年目)

○さらに新たな取引先を獲得(SUGALABO(須賀シェフ)、レフェルベソンス(生江シェフ)、名古屋の割烹店等)した他、需要増加に対応するため生産量を30頭/月から、50頭/月体制にシフトすることとし、段階的に増頭予定

○平成27年の年間売上げは3,400万円(対前年110%)、取引先28件(対前年108%)に増加し、今後の売上げも増加見込み



農業生産法人 今帰仁アグー

「ディスカバー農山漁村の宝」(第1回)選定による効果について



2. 地域の取組の広がり・横展開等

<ハートランド株式会社(大阪府泉南市)>

◎ほうれん草等水耕栽培による障害者雇用による農業チャレンジ

(1年目)受賞により、例年500人程度/年の視察に加え、外国人農業関係者(韓国)からも視察を受入れ(30人規模で2回視察)

(2年目)

○東京に出展開始(企業の試食会にほうれん草・スープを出品)

○水耕栽培と障害者雇用を進める府内福祉団体の連携組織の中で、大阪府と連携してコスト軽減のための共同物流システムの構築を検討中



ハートランド株式会社

<農事組合法人はなどう(宮崎県高原町)>

◎米麦を中心とした6次産業化による地域おこし

(1年目)受賞を契機に、食品会社と協力し、新商品開発開始(玄米黒酢)

(2年目)特別栽培米である「小清水米」を用いた新商品開発の広がりを契機に、県内の川南町及び綾町と連携して新商品を開発。宮崎銀行も、事業発展のためIT企業(6次産業化プランナー)の紹介や助成金等の協力



農事組合法人はなどう

<島のめぐみ観光農園プロジェクトチーム(長崎県壱岐市)>

◎耕作放棄地を活用した有機農業による地域おこし

(1年目)受賞を契機に新たな商品を開発(オリジナル燻製製品、ハチミツの加工品等)

(2年目)

○島内を巡る新たなツアーと商品の開発(梅摘み体験と梅酒、梅ジャムづくり)や、東京出展(有楽町交通会館マルシェ)を果たすとともに、島ぐるみで有機農業をブランド化する「オーガニックアイランド構想」を策定し、JA壱岐市ほかに働きかけ、取組みを点から面へ、島全体に広げる活動に発展



島のめぐみ観光農園プロジェクトチーム



よしもと47ご当地市場
「ディスカバー農山漁村の宝」
コーナー(大阪府中央区)

<各地区共通>

◆「よしもと47ご当地市場」(大阪市:なんばグランド花月内)が、コーナーを設けて選定地区の産品を販売(平成27年10月～)。現在は6地区が販売中

「ディスカバー農山漁村の宝」(第2回)選定による効果について

「ディスカバー農山漁村の宝」(第2回)選定により、現在までのところ以下のような効果が現れているところ。



◆今回新たにグランプリの創設や応援メッセージ等注目を集める取組、またSNSの活用によるPRを行った結果、報道等が大幅に増加
新聞報道

第1回:24回(中央紙2回) → 第2回:57回(中央紙12回)

また、永島委員の主宰する「青空市場」マルシェに選定地区を招き、8地区が出展。産品を販売し都市消費者と交流(3月18日)



選定証授与式・交流会
(27年10月)

1. 知名度の向上・来客数、売上げの伸び

<新湊漁業協同組合(富山県射水市)>【グランプリ】

◎カニ給食や昼セリ見学など、漁協発の食育活動及びブランド化

○受賞を契機にマスコミに取り上げられ、また市内観光ルートに組み込まれた結果、「昼セリ」の来場者数が毎月増加し、平成27年度の来場者数が約13,000人(対前年103%)、「新湊きつときと市場」の来場者数が634,000人(対前年108%)に増加

○「秋のベニズワイ」として富山県の新たなブランドに指定



新湊漁業協同組合

<相差海女文化運営協議会(三重県鳥羽市)>【ウィメン賞】

◎地域固有の海女文化を世界へ発信

○受賞を契機に地元新聞等に取り上げられ、海女小屋等の交流施設(3ヶ所)の利用者数計(10月~3月)が86,013人に増加(対前年108%)

○平成28年5月に開催した伊勢志摩サミットで、鳥羽市と連携しPRイベントに参加。また、今後のインバウンド需要に応えるため、英語版HPや観光案内図を制作し、物産販売店を免税店登録



相差海女文化運営協議会

<社会福祉法人E.G.F(山口県萩市)>【プロデュース賞】

◎障害者が力をあわせ未来の農業を支える本物づくり

○受賞を契機に、イチゴを始めとする農産物全体の品質の高さが評価され、訪問者や購買客が増加したことで売上げ1,300万円(見込)に増加(対前年132%)

○障がい者の農業のノウハウについて隣県の三次市など4団体の視察と3回の講演依頼。見学や問い合わせが増加し、また大手新聞(読売、産経)から取材があるなど、農福連携のトレンドの広がりも顕著。本年3月に農林水産省で開催した「農福連携フォーラム」にも講演者・パネリストとして参加

○また、同じく第2回選定団体である社会福祉法人白鳩会を訪問し職員研修を実施するなど連携した取組みを開始



社会福祉法人 E.G.F

「ディスカバー農山漁村の宝」(第2回)選定による効果について



2. 地域の取組の広がり・横展開等

<遠野・住田ふるさと体験協議会(岩手県遠野市)>

【グローバル賞】◎農家民宿や廃校を活用して企業研修・交流の促進

- 受賞後、農林水産大臣による表敬訪問のほか、8件の講演依頼、3団体の視察受入れ
- 岩手県及び遠野市から、インバウンド受入れの事例について相談を受けるとともに、本格的な観光シーズンに向けて、外国人旅行者向けの外国語のマップや看板の整備の充実等、地域一丸となった取組を行う予定



遠野・住田ふるさと体験協議会

<お菓子な郷推進協議会(埼玉県秩父市)>

◎国産メイプルシロップによるでかエデの多分野多用途活用

- 受賞を機にリーフレットを作成し、関係先に配布。新たに地元金融機関が取組に参加を表明し、経営上の助言や金融商品ギフトへの登録等、新たな関係を構築
- 米国シリコンバレーの日系スーパーのフェアに招待された際、10月の交流会で安倍総理に試食いただいた画像を提示したところ、米国人から大きな反響を得てお菓子が完売。来年度も引き続き参加の依頼



お菓子な郷推進協議会
(下段:シリコンバレーでのフェアの様子)

<春蘭の里実行委員会(石川県能登町)>

◎地域の景観や伝統を活かした農家民宿、80を超える体験メニューで農村を活性化

- 受賞を契機に、県内外のグリーン・ツーリズム団体、土地改良区、6次産業化団体等、多様な団体からの講演依頼が増加。来訪者も11,900人に増加(対前年107%)、売上げも2,300万に増加(対前年109%)
- さらに、イタリアのアグリツーリズムをモデルとした、農家民宿と「食」と地域のネットワークでつなぐスローツーリズムを、能登の世界農業遺産地域全体で行うこととなり、春蘭の里を取組の中心として来年度から推進(石川県と関係市町村が連携・支援)
- また、「食」の面では、同じく第2回選定団体であるNOTO高農園が野菜等を提供し、春蘭の里が民宿を提供するコラボによるスローツーリズムを実施予定



春蘭の里実行委員会

明日の日本を支える観光ビジョン抜粋

「明日の日本を支える観光ビジョン -世界が訪れたくなる日本へ-」
(平成28年3月30日策定)

視点1. 観光資源の魅力を極め、「地方創生」の礎に

滞在型農山漁村の確立・形成

- 美しい農山漁村において日本の自然や生活を体感し満喫してもらうため、以下の取組を一体的に推進。
 - ・「ディスカバー農山漁村の宝」として毎年約20地域を認定し、農山漁村の地域住民の意欲・機運を向上
 - ・「食と農の景勝地」として、地域特有の食とそれに不可欠な食材を生産する農林水産業や景観等を活用して訪日外国人をもてなす取組を、2016年度から認定開始し、一体的に海外に発信
 - ・食と農の景勝地の認定等と連携し、日本ならではの伝統的な生活体験と非農家を含む農村地域の人々との交流を楽しむ「農泊」を推進し、2020年までに全国の農山漁村で50地域を創出
 - ・地域の農畜産物をおみやげとして円滑に持ち出すことができるよう、動植物検疫体制の整備を推進 等
 - ・これらの取組を通じた、インバウンドと農林水産物・食品の輸出の一体的推進
【2020年の農林水産物・食品の輸出額1兆円目標の前倒し達成を目指す】

広域観光周遊ルートに含まれる「ディスカバー農山漁村の宝」選定地区について

○ 「ディスカバー農山漁村の宝」選定地区の多くは、
広域観光周遊ルート上に存在。

第1回選定：全23地区のうち18地区がルート上に存在
第2回選定：全27地区のうち21地区がルート上に存在
合計：全50地区のうち39地区がルート上に存在

【第1回】(平成26年)選定地区

- 1 富良野オムカレー推進協議会
- 2 標津町エコ・ツーリズム交流推進協議会
- 3 三陸に仕事を！プロジェクト
- 4 東北 食のカプロジェクト
- 5 穴塚の自然と歴史の会
- 6 ハッピーロード大山商店街振興組合
- 7 特定非営利活動法人えがおつなげて
- 8 NPO大長谷村づくり協議会
- 9 (株)金沢大地/アジア農業(株)/金沢農業
- 10 (株)篠島お魚の学校
- 11 有限会社せいわの里
- 12 ハートランド(株)
- 13 植村牧場(株)
- 14 色川地域振興推進院会
- 15 (一社)邑南町観光協会
- 16 粟田川農地・水・環境を守る会
- 17 ふるさと萩食品共同組合
- 18 住民自治されさに
- 19 本山町ブランド化推進協議会
- 20 守山女性部加工組合
- 21 島のめぐみ観光農園プロジェクト
- 22 農事組合法人はなどう
- 23 有限会社今帰仁アグー

※広域観光周遊ルートとは、複数の都道府県を跨がって、テーマ性・ストーリー性を持った一連の魅力ある観光地をネットワーク化して海外へ積極的に発信し、外国人旅行者の滞在日数に見合った訪日を強く動機付けるもの。
地図上の  で囲んだ部分が現在認定されてる7ルート。

【第2回】(平成27年)選定地区

- 1 絵本のりけんぶちVIVAマルシェ
- 2 函館育ちふっくりんこ蔵部
- 3 農業生産法人(株)グリーンファーム農家蔵
- 4 遠野・住田ふるさと体験協議会
- 5 一般社団法人ReRoots
- 6 芳那の水晶湖ふれあいの郷協議会
- 7 お菓子な郷推進協議会
- 8 平塚市漁業協同組合
- 9 西伊豆しおかつお研究会
- 10 新湊漁業協同組合
- 11 春蘭の里実行委員会
- 12 NOTO高農園
- 13 殿下の里づくり組合かじかの里山殿下部会
- 14 農業生産法人 有限会社かみなか農楽舎
- 15 馬瀬地方自然公園づくり委員会
- 16 相差海女文化運営協議会
- 17 せせらぎの郷
- 18 株式会社 早和果樹園
- 19 農業法人 株式会社秋津野
- 20 美又湯気の里づくり委員会
- 21 北庄中央棚田天然米生産組合
- 22 社会福祉法人E.G.F
- 23 特定非営利活動法人 美郷宝さがし探検隊
- 24 農事組合法人たどつオリーブ生産組合
- 25 小岱山薬草の会
- 26 社会福祉法人 白鳩会
- 27 やんばる畑人プロジェクト

凡例

- 青丸数字** は、広域観光周遊ルート上に存在する**第1回選定地区**
- 青数字** は、広域観光周遊ルート上に存在しない**第1回選定地区**
- 赤丸数字** は、広域観光周遊ルート上に存在する**第2回選定地区**
- 赤数字** は、広域観光周遊ルート上に存在しない**第2回選定地区**

